

私たちの活動を紹介します

倉吉市

猫じゃらし

<代表> 丸本 千尋さん

<連絡先> TEL 090-7139-4697

<設立年> 平成 29 年 4 月

<会員数> 10 名

<活動に関わる専門家>

愛玩動物飼養管理士資格者 2名

第二種動物取扱業登録者 1名

※鳥取県譲渡ボランティア登録に団体登録



猫じゃらしのメンバー

会発足のきっかけ

平成 29 年 4 月に「猫じゃらし」というグループ名を付け発足した動物愛護グループです。

発足の 20 年ぐらい前から鳥取県中部在住の大先輩たちが、動物愛護活動を続けて来られ、野良猫の TNR (Trap: 捕獲・Neuter: 不妊去勢手術・Return: 元の場所に戻す) や保護猫譲渡会を開いたり、保護猫を預かったりする活動をしていました。当時はすべての費用を自費でまかなっていた地道な活動でした。鳥取県内で、初の野良猫の不妊去勢手術への公費助成が倉吉市で 2014 年から始まったのも大先輩たちが市役所や町役場へ足を運び続け、行政職員や議員に活動の重要性を訴え続けた結果であると思っています。



現実問題として、ゴミ屋敷状態の家に取り残される猫たち

譲渡会を開くのに名前があったほうが多くの方に親しみを持ってもらえるのではないかと「猫じゃらし」というグループ名を付けたのは 5 年前ですが、活動は平成 9 年ごろから続いています。

不幸な猫を一匹でも減らしたい!

私たちは、敢えて「殺処分ゼロ」のような目標の数字は設定せず、人間によって生み出されている「不幸な猫」を減らしていくことを目標に活動しています。

多くの猫の繁殖現場を見てきましたが、猫の問題は人の問題であると実感しています。高齢の独居男性が亡くなりゴミ屋敷状態の家に猫が 10 匹以上取り残されたという案件が心に残っています。家の中に猫の救助に入ったとき、男性が亡くなってから 2 週間過ぎていて、猫も脱水と栄養失調状態でした。残された猫の命は、遺族の責任になるという厳しい現実と直面しました。誰も置き去りにしない地域社会づくりの一環として、野良猫問題が、ご近所同士の助け合いに変わっていただけると嬉しいです。

また、繁殖現場の餌やりさんも苦情のある方も、TNR を終えると、これ以上猫が増えることはないという安心感で笑顔になれる方が多いです。安心して暮らせる地域づくりに貢献できることは活動の励みとなっています。

これからのこと

不幸な猫を一匹でも減らすために、野良猫の繁殖を防いでいきたいです。5 月～6 月は、春に生まれた子猫の保護依頼が急増します。すべての猫を保護してもキリがないのが現状です。子猫が生まれる前に不妊去勢手術を推進していきたいです。

猫じゃらしでは、保護猫の預かりボランティアとミルク猫ボランティアを募集しています。

保護猫譲渡会を毎月第 1 日曜日と第 3 日曜日、午後 2 時～4 時まで、倉吉福祉センターにて開催しています。猫と一緒に暮らしてみたい方、ご来場ください。

保護猫と暮らすという選択肢が大きな社会貢献に繋がります。よろしくお願いします。